

答 申 書

～端野自治区内事業の今後のあり方について～

平成29年10月
端野まちづくり協議会

平成29年10月10日

北見市長 辻 直 孝 様

端野まちづくり協議会
会 長 岡 村 廉 明

端野自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成29年7月31日付けで諮問のありました端野自治区内事業の今後のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

はじめに

平成18年3月5日の新北見市誕生から10年間の検証について、本年2月に報告書がまとめられました。

検証は、北見市独自の総合支所・まちづくり協議会・自治区長の3つの柱からなる自治区制度の成果や課題と、これまでの10年間で踏まえた新市の方向性を見出し、今後のまちづくりの基礎となるものであります。

合併以降、新市としての一体感の醸成や各自治区の均衡ある発展に向けた各種施策がなされてきたところでありますが、市民意識調査の結果では、北見自治区を除く3自治区において、行政サービスの低下をはじめ、さまざまな分野での合併による不満の声が多く出されております。一方では「健康福祉の充実」や「教育文化の推進」など合併によるプラスの効果を感じている意見も出されており、少しずつではありますが、自治区制度への住民理解も得られてきているものと思われま

す。私たちの愛する端野自治区を後世に引き継いでいくためにも、行政と市民が一体となり、まちづくりへの知恵と想いを紡ぎながら、より良い自治区制度の確立に向けて取り組んでいかなければなりません。

端野まちづくり協議会では、平成29年7月31日「端野自治区内事業の今後のあり方について」の諮問を受け、北見市の将来像「ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市～安心な活力都市 北見～」を目指し、後期基本計画における端野自治区の今後の重点施策「豊かで活力に満ちた農業の振興」、「生きる力を育む教育の振興と子育て支援・生涯学習の推進」、「快適で安全な居住環境を活かした定住対策の促進」に基づき、第10次実施計画に盛り込むべき事業について、様々な角度から検討を重ね具体的な議論を行い、この答申書をまとめました。



▲端野まちづくり協議会

～端野自治区の今後のあり方について～

主な意見として

- ・ 防災と併せて災害時の被害を最小限化させる減災とのハード・ソフト一体となった総合的対策の実施を願う。
- ・ 道路整備には有利な財源を利用し、住民ニーズを把握した中で効率的かつ効果的に事業を進めてほしい。
- ・ 地域活動や自治会活動の拠点である各地域生活センターは、災害時の避難所機能を有し、防災拠点となり得るよう早急な改修の実施を願う。
- ・ 協栄ダムを有効活用する畑地かんがい施設整備事業は、将来にわたって農家の生産性を高める事業であることから着実に進めてほしい。
- ・ 円滑かつ迅速に河川氾濫等による内水被害を軽減し、基幹産業である農業の持続的な振興を図るため、排水ポンプの設置を願う。

- ・排水路の排水能力を向上させるため、計画的な維持管理の実施を願う。
- ・林道は、山林施業ほか耕作道、生活用道路として利用されているため、計画的な林道整備（支障木処理）の実施を願う。
- ・地域おこし協力隊による農業支援は、豊北地域にとってもプラスに作用しており、引き続きの支援を行い、もう1名の採用を早急に望む。
- ・人口減少社会において、移住・定住者は地域の活性化につながる重要な要素であります。端野自治区における農業協力員をはじめ幅広いジャンルにおいて雇用・就業の機会を提供できる「地域おこし協力隊」は移住・定住にとっても有効な制度であることから、北見市において積極的に活用策を講じてもらうとともに、全道・全国にこの地域の魅力を伝え・伝える、独自の移住・定住促進策に取り組んでほしい。
- ・端野町交流センター「のんたの湯」は市民の健康増進、地域間交流の場として愛される施設であり、快適な利用ができるよう計画的な営繕を願う。
- ・公営住宅等長寿命化計画に基づき、入居者への安全・安心で快適な居住環境を提供するため、建設年度の古いものから営繕調査を行い、計画的に修繕を願う。
- ・避難所に指定されている農業者トレーニングセンターの温水暖房機は老朽化が激しく、冬季利用や避難所機能に支障がでないよう早急な更新を願う。
- ・端野町公民館、農業者トレーニングセンター、太陽っ子児童館の雨漏り等については、利用に支障をきたさないよう早急に改修してほしい。
- ・屯田の杜公園内の倒木の危険性がある樹木については、景観に配慮しつつ安全性を重視した伐採などの対応をしてほしい。
- ・端野自治区のシンボル施設であるウォーターパークは、夏の憩いの場として家族連れにも大変人気であることから、来年度開園に向け、水道ポンプ更新をはじめ、安全対策など計画的な施設改修を願う。
- ・農業振興センターの老朽化した備品の更新を計画的に実施し、加工実習室床の滑り止め等の改修も実施してほしい。
- ・端野自治区が元気でいられるためには、基幹産業である農業の振興はもちろん、商工業の振興も忘れてはならない。農業者をはじめ商工業者の方々は自治区内におけるイベントの開催や地元農作物を活用した商品開発など、端野自治区のPRやまちづくりの中心として積極的かつ精力的に取り組まれていることから、今後も行政と連携し、継続的に必要な支援を行い自治区内における均衡ある産業の振興と発展を願う。

などの意見が出されました。

以上のことを踏まえて、「端野自治区要望事業一覧」44事業を採択し、その中でも、特に採択順位や優先順位が高いと考える9事業について、北見市総合計画の基本目標に沿って、その内容や必要性について申し上げます。

（なお、基本目標3にあっては、地域において強く要望されております高齢者が安心して暮らせる地域包括ケア体制の整備についてのみ申し上げます。）

基本目標 1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

【河川改修事業】

近年、集中豪雨による洪水など、想定を超える規模の災害が多発しており、大規模災害の発生リスクの低減を図るためには、防災と併せて災害時の被害を最小限化させる減災とのハード・ソフト一体となった総合的な対策が重要となっており、河川の小規模改修や土砂上げを行うことが防災・減災への重要な要素であることは間違いありません。

端野自治区の建設課で管理している普通河川は28本、排水路は36本あります。これらの河川などは施設が老朽化し、大雨が降るたびに護岸ブロック等が破損、氾濫した河川は隣接する農地等を侵食し、被害を増大させている状況にあります。

今回、事業要望している三区の13号の沢川や緋牛内のPontペンピラウシナイ川は、これまでも度重なる大雨により法面や圃場が浸食され、表土・農作物の流失や道路の冠水等の被害が発生していることから、抜本的な護岸・法面改修を行うなど全面的な河川改修整備の実施を強く要望します。



▲常呂川災害復旧工事（一区 東19号地先）
急ピッチに工事が進められています

【緋牛内保育所園舎解体事業】

緋牛内保育所は、昭和40年に園児数42名で開設され、長年にわたり運営されてきましたが、児童数の減少により、平成22年3月をもって閉所し現在に至っております。近年は、老朽化に加え、強風などにより屋根が剥がれたり、モルタルの壁が崩れ落ちるなど、近隣住宅等への被害も懸念されており、安全の確保と環境保全のため、建物の早期解体撤去を強く要望します。

基本目標 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

【端野町公民館トイレ洋式化事業】

端野町公民館は、しらかば大学や各種サークル活動、舞台発表など世代を超えた地域づくりの拠点として多くの方々に利用されておりますが、洋式トイレが少ないため、ご高齢により足腰に不安を抱えている方や舞台発表者等のトイレ利用に不便をおかけしている状況にあります。

利用者が快適に施設を利用できるよう計画的なトイレの洋式化を強く要望します。

【屯田の杜公園ウォーターパークポンプ更新事業】

屯田の杜公園内にあるウォーターパークは、全長130mで、ピラミッド状に積み上げられたコンクリートブロックが北海道の屋根と言われる大雪連峰、そこから流れる湧水が常呂川に合流し、オホーツク海へと流れ込むイメージの

もと作られております。

ウォーターパークを流れる水路も機能的にデザインされ、噴水や水遊びが楽しめる工夫が施され、町内外から涼を求め、多くの人々が集まる人気の施設であり、近隣には、図書館、資料館や野球場、農業者トレーニングセンターなどのスポーツ施設もあり、緑に囲まれたやさしい公共空間となっております。

しかしながら、市内外からの遠足や課外授業をはじめ、コミュニティの場として利用されているウォーターパークの親水施設や噴水も昭和54年の設置から38年が経過し、経年劣化によるポンプ不全が生じ、8月下旬より使用できない状況となっております。

活気あふれる子どもたちが楽しく過ごせる夏の憩いの場となるよう来年度開園に向けて、ポンプ更新や安全対策など計画的な施設改修を強く要望します。



▲ 屯田の杜公園内 ウォーターパーク
水遊びを楽しむ子ども達

基本目標3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

急速な少子高齢社会が進む中、平成37年には、いわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる超高齢社会を迎えます。

高齢者の人口が増加することに伴い、医療が必要な高齢者の数も当然増加することが見込まれますが、地域の医療資源が限られる中で、医療ニーズの増加に対応するためには、急性期の医療から在宅医療・介護までの一連のサービスが適切に確保され、提供される必要があります。

地域包括支援センター（高齢者相談支援センター）は、こうした地域包括ケアの実現を目指し、地域で高齢者の生活を支える総合的機関として平成18年に創設され、現在北見市において日常生活圏域7ヶ所に設置されております。

介護保険法の改正により、全国一律の予防給付（介護予防訪問介護・介護予防通所介護）を市町村が実施する総合事業へ位置づけ、また、包括的支援事業に在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備が組み込まれました。

端野自治区においては、「東部・端野地区」に日常生活圏域が組み込まれているため、東部・端野地区地域包括支援センターの協力機関として総合相談窓口が現在の在宅介護支援センター内に設置されているにとどまり、常呂・留辺蘂自治区と比べ、その体制や機能の格差が拡大している状況にあります。

地域包括ケアをより一層充実させるためには、新しい地域支援事業の構築と、市民の自助的な健康づくり・介護予防、地域で活動するさまざまな担い手（町内会・NPO・住民ボランティア等）との協働、支え合いが必要不可欠であるため、端野地域に地域包括支援センター機能を明確に位置づけするよう強く要望します。

基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

【地域おこし協力隊事業(豊北地域への農業協力員)】

農業集落である豊実・北登地域は農家戸数の減少、高齢化、後継者不足により地域農業をどのように守っていくのか、将来への不安と危機感が高まっております。

今年度より地域おこし協力隊の制度を活用し、豊北地域への農業協力員1名が採用され、農作業に従事しながら新規就農を目指した営農知識や技術の習得を積み重ね、さらには、地域行事への積極的な参加など、地元農業者も農業協力員の真剣かつ熱心な姿勢に刺激を受け、地域農業維持への新たな取り組みの話し合いなど、地域の活性化に向けて取り組んでいるところであります。

しかしながら、現在の採用は1名にとどまっており、農業協力員としての考えや想いなどを相談・共有していくためにも、もう1名の採用について、早急な対応を望みます。



▲北登シソ蒸留施設での共同作業

薄荷からシソへ、蒸留技術は今も継承されています

【樋門に係る排水ポンプ設置事業】

端野自治区を流れる常呂川には、大雨により河川が増水した際、小河川や水路への逆流を防ぐための施設である樋門が6ヶ所設置されております。

近年、気候変動の影響から、これまでの想定規模を超える短時間豪雨が多発し、堤外農地はもとより堤内農地の浸水被害の危険度が増しており、昨年8月の台風においても農業用施設等の冠水や収穫前の農作物が流失し、水腐れするなどの甚大な被害を受けたところであります。

排水ポンプを設置することで、堤内農地の冠水時間が短縮され、農作物の根腐れなどの被害を食い止めるだけでなく、流失防止にもつながり、基幹産業である農業の持続的な振興への効果も高いことから、浸水の高リスクとされている端野右岸樋門、忠志25号樋門、忠志1号樋門の3ヶ所について排水ポンプの設置を強く要望します。

基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

【端野町301号線道路整備事業】

この道路は、虹野団地（三区：宅地分譲地）と国道39号を結ぶ未改良道路で道幅も狭い状況にあります。地域の小中学生や高齢者の方々が通行する生活道路であります。幅員が狭いため相互通行時に支障があるとともに、未改良であることから路面の凸凹に加え、埃が舞うなど沿線住宅地の生活環境にも悪

影響を与えております。

本事業は、200mの区間を改良舗装するものであり、地域住民の安全の確保や利便性の向上が図られることから事業の実施を強く要望します。



▲未改良道路の端野町301号線（三区）
生活道路として整備要望のある路線です

【市営住宅改善事業(東陽団地)】

私たちが長年にわたり要望してきました親交団地建替事業も今年度第2期目を迎え、平成32年度までに26棟88戸が建替えられる予定となっております。良質でぬくもりある木造施工は周辺の農村景観と調和した居住環境を創出しておりますので、着実な事業の推進を願うところであります。

また、公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存の低層市営住宅を良質で長期活用可能なストックとして維持管理が必要となることから、建設年度の古いものから営繕調査・改修を行うなど計画的な修繕を強く要望します。

基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

【地域生活センター維持補修事業】

端野自治区には、地域生活センターが8館ありますが、建設から30年以上経過した施設もあり、老朽化により様々な補修工事が必要となっている状況にあります。

各地域生活センターは、自治会活動やサークル活動など地域コミュニティの活動拠点として多くの市民に利用されており、8館のうち7館は災害時の避難所として重要な機能を有しているため、地域にとって大変重要な施設であります。

これまでも施設の状況を確認し優先度を判断しながら、補修計画に沿って整備を進めておりますが、今後におきましても、計画的な事業実施を強く要望します。

むすび

私たち端野まちづくり協議会は、昨年に引き続き本年7月、置戸町での視察研修を行いました。

置戸町は、住民が「独自の図書文化」を生み・育て、地域資源として官民一体となった取り組みを進めており、図書館は、貸出方式の変更や貸出冊数制限の撤廃など、住民が利用しやすいサービスを実践し、昭和45年以降住民一人あたりの貸出冊数が全国一に輝くなど全国的にも注目されてきました。

また、早くから献本活動や冠婚葬祭のお返しを図書館に寄附するという活動が展開され、予算増額にも弾みをつけたほか、昭和59年には図書館整備基金を立ち上げる原動力となりました。こうした寄附活動が、住民が支え・育てる図書館運動の原点であり、その伝統がいまも息づいており、図書文化がまちづくりに大きな役割を果たしてきたものと感じたところです。

さて、端野自治区には大きな課題として端野図書館整備事業があります。

合併への想いを込めた新市まちづくり計画、それを受け継いだ北見市総合計画にも掲載されている事業であり、端野まちづくり協議会としても視察研修や勉強会の開催など、第10次実施計画策定に向けた協議を進めてきましたが、北見市公共施設マネジメント基本計画に基づく、最適配置の検討において、現在策定中の北見市立図書館振興計画との整合性や屯田の杜公園内の公共施設全体の整備計画、施設規模等の観点から第10次での計画策定は困難な状況となりました。

しかしながら、端野図書館整備事業は「まちづくりは人づくり」を理念とする端野自治区にとって未来を切り拓く最も重要な事業であることから、私たち端野まちづくり協議会も行政と一丸となって、屯田の杜公園内施設との連携による相乗効果や、「あの図書館は楽しい、また行きたい」と思われるアイデアや工夫を検討し、子どもからも大人からも注目される「遊び心」を取り入れた魅力的な図書館整備計画を一刻も早く練り上げ、事業を実施しなければなりません。

現在の北見市総合計画は平成30年度で終期を迎えるため、平成31年度を初年度とする新たな総合計画の策定作業が進められておりますが、まちづくりは、市民がそれを自らの問題ととらえ、行政との協働作業により、それぞれの役割を果たしながら進めていくべきものであり、新たな総合計画のもとに端野まちづくり協議会としても気持ちを新たに、まちづくりに全力で取り組んでいきたいと考えております。

北見市総合計画第10次実施計画の策定にあたりましては、端野自治区の事情を十分にご参酌いただき、答申を最大限尊重されますよう強く要望します。



▲置戸町立図書館

子どもの背丈に配慮された書架の配置と快適な空間が演出されています

協 議 経 過

・端野まちづくり協議会 「端野自治区内事業の今後のあり方について」開催状況

協議回数	日 時	場 所	内 容
第1回	7月31日(月) 午後6時00分	総合支所	諮 問 端野自治区内事業の今後のあり方について
第2回	9月7日(木) 午後7時00分	総合支所	説 明 諮問から答申までの流れ 議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について
第3回	9月21日(木) 午後7時00分	総合支所	議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について ～答申書(案)～
第4回	9月28日(木) 午後7時00分	総合支所	議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について ～答申書(案)～

端野自治区要望事業一覧

1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

(1) 防災の強化

1	河川改修事業	普通河川等の調査設計、護岸改修、法面補修工事
---	--------	------------------------

(2) 地域の安全の確保

2	緋牛内保育所園舎解体事業	園舎解体工事、上下水道撤去申請・検査料
3	農業者トレーニングセンター防犯設備設置事業	防犯設備設置工事（非常威嚇機器等設置）
4	端野図書館防犯設備設置事業	防犯設備設置工事（非常威嚇機器等設置）

(4) 地球環境保全と循環型社会の構築

5	端野町廃棄物処理施設管理業務	第1期埋立地樹木の植栽委託、埋立地外周雨水排水路土砂上げ清掃委託
6	LED灯切替事業	水銀灯やナトリウム灯からLED灯への切り替え

(5) 快適な生活空間の整備

7	森と木の里井戸修繕事業	井戸底部の汚泥引上げ、揚水管清掃、水中ポンプ点検
---	-------------	--------------------------

2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

(2) 生涯学習の充実

8	端野町公民館修繕措置判定調査事業	施設・設備の修繕措置判定を行う調査
9	端野町公民館整備事業	空調設備修繕、冷暖房設備修繕、玄関タイル改修工事、屋上防水修繕等
10	端野町公民館トイレ洋式化事業	トイレ洋式化改修工事

(7) 青少年の健全育成

11	児童館施設整備事業（端野太陽っ子児童館）	屋根・外壁改修工事
----	----------------------	-----------

(9) 芸術・文化活動の振興

12	端野町公民館文化鑑賞推進事業	グリーンホール（固定席）を活用した一般向け文化鑑賞事業の実施
----	----------------	--------------------------------

(10) 生涯スポーツの振興

13	端野町農業者トレーニングセンター温水暖房機更新事業	温水暖房機の更新
14	端野町屯田の杜公園樹木管理事業	危険樹木等の伐採処理
15	端野町屯田の杜公園多目的グラウンド管理強化事業	芝グラウンドの維持管理
16	屯田の杜公園ウォーターパークポンプ更新事業	水道ポンプ等の更新

(11) 文化財の保護・継承

17	地域文化財保護事業	市文化財指定である推定樹齢350年のカシワの空洞治療等
----	-----------	-----------------------------

3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

(2) 地域福祉活動の推進

18	福祉バス更新事業	福祉バスの更新
----	----------	---------

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2) 地域特性を活かした農業の振興

19	端野町農業振興センター 備品購入事業	施設備品の更新（真空包装機、冷凍冷蔵庫、豆腐シンク・調理台等）
20	地域おこし協力隊事業（豊北地域への農業協力員）	国の制度を活用し、地域就農を目指す農業協力員の導入
21	農地整備事業（経営体育成型） 端野下左岸地区	農業用排水路工事
22	農地整備事業（畑地帯担い手育成型） 端野川向協和地区	農業用排水路工事
23	農地整備事業（畑地帯担い手育成型） 端野下右岸第2地区	農業用排水路工事
24	基幹農道整備事業（農道保全） 端野二区三区地区	農道改良舗装工事
25	協栄ダム畑地かんがい施設整備事業	ダムの水田利用から畑地かんがい利用への変更に係る調査及び事業計画の策定等
26	多面的機能支払交付金事業	共同活動：7活動組織が実施 ・農地、水路等施設の維持管理 ・農村環境の保全
27	排水路維持管理事業	排水路の土砂上げ等
28	林道緋牛内線支障木処理委託事業	支障木の処理
29	樋門に係る排水ポンプ設置事業	常呂川（一区・忠志地区）の樋門への排水ポンプ設置

(7) 新たな観光資源の活用

30	端野町交流促進センター 施設改修事業	「のんたの湯」機械設備等の改修
----	-----------------------	-----------------

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(1) 機能的な都市空間の創出

31	地籍成果修正事業	基準点測量、現地調査、地図・地籍更正登記のための面積計算、地積測量図等関係図書の作成
----	----------	--

(2) 道路網の整備

32	端野町163号線道路整備事業	道路改良舗装工事
33	端野町132号線道路整備事業	道路改良舗装工事
34	端野町201号線道路整備事業	調査設計、道路改良舗装工事
35	端野町301号線道路整備事業	測量設計・道路改良工事
36	端野町263号線道路整備事業	測量設計・道路改良工事
37	端野町306号線道路整備事業	測量設計・道路改良工事
38	オーバーレイ舗装整備事業	市道舗装のオーバーレイ工事（再舗装）
39	端野自治区道路維持補修事業	道路排水整備、側溝整備、測量調査等

(4) 良好な住宅・住環境の創出

40	市営住宅建替事業（親交団地）	親交団地（木造平屋）建設、外構工事、旧住宅CB造除却解体、次年分実施設計等
41	市営住宅改善事業（東陽団地）	東陽団地屋根外壁等改修工事

(6) 除排雪体制の強化

42	建設機械更新事業（社会資本整備総合交付金）	除雪グレーダー購入
----	-----------------------	-----------

6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(5) 住民自治の推進

43	端野まちづくりパワー支援補助金	個性豊かで活力ある、住みよい地域社会を構築するために、地域の活性化に向けて住民が「自ら考え、自ら実践する」まちづくり活動事業に対する補助
44	地域生活センター維持補修事業	端野町高齢者コミュニティセンター雪害防止柵設置、屯田農村生活センター研修室B畳取替・地下防水換気工事、川向文化センター敷地内樹木伐採委託、豊北農村生活センター床改修工事

◇端野まちづくり協議会◇

【委嘱期間 H28.6.14~H30.6.13】

	氏 名
会 長	岡 村 廉 明
副 会 長	山 内 幹 司
委 員	伊 藤 紀 子
委 員	大 友 三 明
委 員	小 田 大 典
委 員	斉 藤 千 尋
委 員	真 田 健
委 員	寺 崎 博
委 員	中 島 英 樹
委 員	沼 崎 栄 治
委 員	平 川 千 春
委 員	細 川 純 子
委 員	保 里 隆 道
委 員	村 本 慧 乃
委 員	渡 辺 まゆみ

(会長・副会長を除き、50音順)

